

## 行事等報告

### インターペット開催される ―藏内会長、公開トークショーに出演―

本年7月24日～27日の4日間、東京ビッグサイトにおいて、インターペット「人とペットの豊かな暮らしフェア」が開催された。この中で7月25日に開催された公開トークショー「人とペットの健康生活」に本会 藏内勇夫会長が出演した。

ペットフード協会の越村義雄会長、日本チェーンドラッグストア協会の宗像 守事務総長、日本愛玩動物協会の東海林克彦会長とともに出演した藏内会長は、ペットが与える人生の生きがい、ペットとの共生による人の喜びや心身の健康への影響、子供の心と体の向上や患者の健康改善や治癒効果を与えるペットの影響、高齢者に元気や活力を与えるペットの影響等、ペットとの共生による優れた効果について紹介し、来場者から共感を持って拍手が送られた。

トークショーの途中では、林 芳正農林水産大臣が、多忙な公務の中来場され、挨拶の中でペットによる癒しの効果について自身の体験を交えながら楽しく披露された。



## 紹介

### 藏内会長タイ国獣医師会と意見交換

7月22日、日本獣医師会 藏内勇夫会長がタイ国を訪問し、タイ国獣医師会と意見交換を行った。

当日、藏内会長は、アジア獣医師会連合(FAVA)のアチャリア サイラスタ事務局長(元タイ国獣医師会会長)が勤務するチュラロンコン大学獣医学部を訪問し、学部内に設置されている附属動物病院を視察した。

その後、タイ国獣医師会を訪問し、ソラヴィスタネト会長(タイ国畜産開発局局長補佐官)ほか、タイ国獣医師会の役員の方々と意見交換を行った。

タイ国獣医師会からは、昨年末にタイから日本への鶏肉輸入停止措置が解除になったことに関し、タ

イ国の鳥インフルエンザ対策について説明され、獣医師・獣医師会の立場から輸出入の振興に協力を求められた。

藏内会長からは、FAVA及び世界獣医学協会(WVA)の運営、役員を選任等に関する協力を呼び掛けるとともに、国際的なワンワールド・ワンヘルスの推進と医師会-獣医師会の協力、狂犬病への対応に関する情報の共有等に関して両国の連携の重要性が強調された。

また、今後の両国獣医師会における獣医学術連携協力を強めていくことが合意された。



図1 チュラロンコン大学にて：FAVA事務局長アチャリア氏と日本獣医師会 藏内会長



図2 タイ国獣医師会にて：左から、藏内会長、タイ国獣医師会タネト会長、アチャリア氏

## 行事等案内

# 第19回 日本乳房炎研究会学術集会

日時：10月10日(金) 10:00～17:30(開場 9:00)

場所：農林水産省共済組合 南青山会館  
東京都港区南青山5-7-10  
☎ 03-3406-1365

内容：

- ・シンポジウム  
「乳房炎の発生要因を探る ―栄養と乳房炎―」  
座長：麻生 久(東北大学), 河合一洋(麻布大学)  
①「生産病と栄養」 櫛引史郎(畜産草地研究所)  
②「乾乳期間短縮による泌乳平準化とストレス軽減効果」 中村正斗(北海道農業研究センター)
- ・その他：一般口演, ランチョンセミナー

ポスター発表, 企業展示

参加費：会 員 3,000円 一 般 5,000円  
学 生 1,000円

その他：閉会後に情報交換会有 (参加費 4,000円)

問合せ先：

日本乳房炎研究会事務局  
事務局長：林 智人(動物衛生研究所北海道支所)  
〒981-8555 宮城県仙台市青葉区堤通兩宮町1-1  
東北大学大学院農学研究科内  
E-mail : nipponmastitis@ml.affrc.go.jp  
URL : <http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html>

## 行事等案内

獣医コミュニケーション研究会 & 全国畜産支援研究会(NDK)主催セミナー

### 「獣医療における“もめごと”について考える」

日時：2014年9月20日(土) 13:30～19:00(懇親会 19:30) 21日(日) 9:30～16:00

場所：千駄ヶ谷区民会館 東京都渋谷区神宮前1-1-10 ☎ 03-3402-7854

参加費：1日間 1,000円 2日間 2,000円 ただし学生は参加費無料

(1日だけの参加も可, 懇親会会費は別途. 宿泊は各自ご用意下さい.)

お申込み：<http://kokucheese.com/event/index/201470/>

## 行事等

8月6日：第32回日本獣医師会雑誌編集委員会

8月7日：健全な家畜取引推進のための啓発普及事業に係る現地検討会に矢ヶ崎専務理事出席

8月15日：全国緊急災害時動物救援本部会議に矢ヶ崎専務理事他出席

8月21日：産業動物獣医師確保に係る懇談会に藏内会長, 近藤副会長, 酒井副会長, 矢ヶ崎専務理事, 北村顧問出席

8月22日：業務運営幹部会議

8月26日：第3回女性獣医師支援特別委員会

8月28日：第3回狂犬病予防体制整備特別委員会

8月29日：第12回野生動物対策検討委員会・第5回野生動物救護対策のあり方検討小委員会合同委員会

8月31日：中部地区獣医師大会に藏内会長, 近藤副会長, 矢ヶ崎専務理事, 北村顧問出席

## 行事等案内

# 第38回 大動物臨床研究会シンポジウム

日時：平成26年11月22日(土) 9:30～17:00

会場：酪農学園大学 中央館学生ホール

主催：大動物臨床研究会（高橋俊彦会長）

テーマ：「牛の一生における管理（パートVI）」

～牛の低カルシウム血症を考える～

内容：

総合司会：石川高明（研究会副会長, 留萌地区 NOSAI）

①基調講演（9:35～11:35）

「ヒトカルシウム代謝異常症の臨床

—低カルシウム血症を中心として—」

永井 聡（NTT 東日本札幌病院）  
糖尿病内分泌内科

②ランチョンセミナー（11:50～12:40）

③定期総会（12:40～13:00）

④教育講演1（13:15～14:45）

「乳牛の分娩後低カルシウム血症の病因と病態」

山岸則夫（岩手大学農学部共同獣医学科）  
産業動物臨床学研究室

⑤教育講演2（14:45～16:15）

「飼養管理による乳牛の低カルシウム血症予防を  
考える」

黒崎尚敏（トータルハードマネ  
ジメントサービス）

⑥総合討論（16:20～17:00）

参加費：（事前登録不要）

正会員 1,000円 非会員 8,000円

学 生 500円（年会費 4,000円）

その他：テーブルセミナー開催（18:30～20:30 札幌  
ガーデンパレス, 参加費 6,000円（当日会場  
で支払））

「日大の産業動物の現状と今後」

大野真美子（日本大学獣医学科）

問合せ先：

大動物臨床研究会事務局 福田茂夫

〒081-0038

北海道上川群新得町新得西5線39番地1

道総研 畜産試験場 生物工学グループ

☎0156-64-0618

E-mail: fukuda-shigeo@hro.or.jp

## 募 集

# 平成26年度 新潟県職員(獣医師)採用選考考査の実施

1 職種, 採用予定員数等：獣医師10人程度. 知事  
部局の本庁各課又は佐渡トキ保護センター, 動物愛  
護センター, 地域振興局健康福祉（環境）部, 食肉  
衛生検査センター及び家畜保健衛生所等の地域機関  
で, 職種に応じた業務に従事

2 受験資格：

(1)年 齢：昭和30年4月2日以降に生まれた人

(2)資格要件：獣医師の免許取得者又は平成27年に  
行われる獣医師国家試験により免許取得見込みの  
人（その他, 国籍等の要件有）

3 選考考査日時：9月28日(日)（受付9:00～9:30）

4 選考考査会場：新潟県庁 行政庁舎602会議室(6階)

5 選考方法：論文審査, 適性審査, 面接考査

6 受験手続：

(1)申込先：新潟県農林水産部農業総務課（総務係）

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

新潟県庁9階

(2)提出書類：①受験申込書（所要事項を記入し, 所  
定の写真（半身, 脱帽, 正面向の写真（4.5cm ×  
3.5cm・パスポートサイズ）で6カ月以内に撮影  
したもの。）を必ず貼付。）②獣医師免許証の写し  
（獣医師免許取得者のみ）

(3)申込方法：申込先に提出書類を直接持参するか郵  
送（「獣医師受験申込」と朱書き必ず書留等を利用）

(4)受付期間：8月18日(月)～9月22日(月)

8:30～17:15（土日祝を除く）

詳細は, 新潟県庁ホームページのトップページの  
「注目情報」の右下「資格・採用試験・講習会」から  
「(2014年08月18日)平成26年度新潟県職員(獣  
医師)採用選考考査を実施します(<http://www.pref.niigata.lg.jp/jinji/1356793183703.html>)」をご覧ください。

募 集

## 福島県職員



# 獣医師募集

～さあ一緒に！ 新しいふくしまで働こう～

震災から3年余りが過ぎ、福島県は着実に元気を取り戻していますが、復興には息の長い取組が必要であり、さらには、震災によって新たに生じた課題にも立ち向かっていかなければなりません。

しかしながら、そこには、福島県職員でしか経験できない、新たな発見や達成感、やりがいがあることも事実です。「新生ふくしま」の実現のためには、あなたの経験や知識、感性が不可欠です。

是非、力を貸していただければ幸いです。

### ◆採用予定日

平成27年4月1日

(獣医師免許を有する方は相談の上、採用日を早める場合あり)

### ◆申込要件

昭和43年4月2日以降に生まれた方で、獣医師免許を有する方又は取得見込みの方

### ◆試験月日

平成26年10月19日(日)

### ◆会 場

東京都内(詳細はHP等で確認願います)

### ◆募集人数 若干名

### ◆職務内容

家畜保健衛生所、食肉衛生検査所等に勤務し、家畜保健衛生・食品衛生・試験研究等の業務に従事

### ◆給 料 等 福島県の条例等に基づき支給



### お問い合わせ先

① 福島県農林水産部  
農林総務課

☎ 024-521-7391

② 福島県保健福祉部  
保健福祉総務課

☎ 024-521-7219

③ 福島県総務部  
人事課

☎ 024-521-7033

### ホームページ

採用情報 福島県人事課

検索

獣医師確保情報 福島県畜産課 獣医師確保

検索

## 募 集

◎臨床研修獣医師

### 酪農学園大学附属動物病院

- 1 資格：日本国獣医師免許取得者、  
または取得見込者
- 2 研修内容：  
病院長の下で診療と臨床研修に従事  
研修成果を症例報告等で年1回誌上公表
- 3 研修期間：  
2015年4月～2016年3月  
(年度ごとの雇用契約だが、既卒者で希望があれば今年度内からの勤務可。成績有効な場合、年度末に雇用更新可(2回まで))
- 4 身分：酪農学園臨時職員の規定を適用
- 5 呼称：酪農学園大学附属動物病院臨床研修獣医師
- 6 待遇：給与月額20万円、通勤手当有、  
社会保険加入  
本院負担：獣医師賠償責任保険・健康診断受診料・放射線被曝線量検査料、道内学会発表に伴う出張旅費(年1回)
- 7 募集人員：伴侶動物医療部門・生産動物医療部門 若干名  
診療科：①伴侶／内科, 外科(整形・神経), 腫瘍科(軟部), 画像診断, 麻酔科, 眼科  
②生産／内科, 外科, 繁殖科
- 8 提出書類：  
①履歴書(本人自筆, 写真添付, 余白または裏面に研修希望の診療科を第3希望まで記載)  
②成績証明書(卒業後3年以上の場合不要)  
③獣医師免許の写し(取得見込者は採用後速やかに提出)  
④推薦者がいる場合には推薦状の添付可  
\*提出書類は返却不可
- 9 応募締切：2014年9月26日(金) 必着
- 10 選考方法：書類選考後に面接  
(日程調整の上随時。面接に係る旅費は自己負担)
- 11 書類提出及び問合せ先：  
〒069-8501 江別市文京台緑町582  
酪農学園大学附属動物病院  
事務課長 高山基樹  
☎011-386-1111(代) 内線4000  
E-mail: takayama@rakuno.ac.jp  
HP: <http://rakuno-rguvth.jp/>

## 紹介

◎新刊

## 牛病カラーアトラス 第3版

津田知幸（農研機構 動物衛生研究所所長）

動物の病気の臨床症状を説明するのは難しい。文章のみで動物の症状や障害の状態を詳細に記録し、これを確実に読者に理解させるには相当の技術と努力が必要である。読者に臨床経験があれば、文章を読んで想像力を最大限に研ぎ澄ましてそれをイメージすることも可能であるが、未経験の人にとっては、あるいは見たことがない疾患などについては、写真による視覚的な情報が最も理解しやすく記憶にも残りやすい。

本書は1991年に発刊され、94年に和訳されて刊行された「牛病カラーアトラス」の第3版で、日本語版としては20年ぶりの発刊となる。牛の各種疾患の特徴を最もよく示す豊富なカラー写真で好評を得ている本書の第3版では、高画質な写真が100枚以上追加収録され、掲載されている疾患数も増加するなど、第1版の特徴を生かしたまま、より充実したものとなっており、家畜生産者、獣医学生から研究者にいたるまで、牛に関わる者が幅広く利用できる解説書となっている。

本書の章の構成には初版から大きな変更はないものの、疾患の説明は病態、症状、類症鑑別、対処に分けて記載され、診断から対処法までが簡潔で分かりやすく書かれている。臨床の特徴を示す写真が中心であるため、先天異常や新生子疾患、皮膚疾患、

運動器疾患などの疾患が多く掲載されているが、感染症についても口蹄疫や牛疫、ブルータングなど、国内では見られない貴重な写真も数多く収載されている。すなわち、普段よくみられる疾患ばかりでなく、動物の病気の国際化が進む現代において、すでに日本からは無くなったと考えられている病気や海外から新たに入ってくる可能性のある病気について予備知識を得るためにも、臨床や家畜衛生に関わる獣医師にとっては是非身近に備えておきたい一冊である。

本書は世界中の獣医師から提供された写真を豊富にちりばめ、世界5大陸の主要疾患を網羅した珠玉の一冊となっている。これだけの写真を収集してまとめ上げた著者の情熱に敬服すると共に、ほぼ同時の日本語版の発刊に向けて監訳を努められた恩師のお骨折りに深く敬意を表し、感謝する次第である。

著者：ロジャー W. ブローウィ、  
A. デービッド ウィーバー  
監訳：浜名克己（鹿児島大学名誉教授）  
翻訳：浜名克己、小林順子  
発行：(株)緑書房（チクサン出版社）  
判型：A4判 277頁 カラー写真848枚  
定価：本体15,000円（税別）  
ISBN978-4-89531-181-6  
問合せ：(株)緑書房（チクサン出版社）  
TEL 03-6833-0560  
FAX 03-6833-0576  
E-mail : hagai@mgp.co.jp